

## 歯科衛生士教育プログラムの国際比較と歯科衛生士 ロールモデルの開発

著者	高橋 由希子, 西保 亜希, 水村 容子, 福田 昌代, 破魔 幸枝, 吉田 幸恵
雑誌名	神戸常盤大学紀要. 別冊
号	16
ページ	24-24
発行年	2023-03-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1492/00001187/">http://id.nii.ac.jp/1492/00001187/</a>

## 歯科衛生士教育プログラムの国際比較と歯科衛生士ロールモデルの開発

高橋 由希子<sup>1)</sup>

西保 亜希<sup>2)</sup> 水村 容子<sup>2)</sup> 福田 昌代<sup>1)</sup> 破魔 幸枝<sup>1)</sup> 吉田 幸恵<sup>2)</sup>

目的：海外の口腔衛生専門職および歯科衛生士の職務、歯科衛生士制度や養成教育の現状を調査し、日本の歯科衛生士に求められる職務や役割について検討する。研究結果をもとに、グローバル社会に対応した新たな4年制歯科衛生教育プログラムを開発し、TOKIWA Dental Hygienist ロールモデルを目指すことを目的とする。

方法：文献、国の機関、歯科医師会などの website によるアジア諸国の口腔衛生専門職の職務や役割の調査分析を行った。

結果：海外では、dental hygienists、dental therapists、dental nurses、dental assistants、dentist など様々な専門職が人々の口腔衛生を担い、口腔健康教育を実施していた。28 のアジア諸国の口腔衛生専門職の役割の調査分析を行った結果、14 か国に歯科衛生士の口腔衛生専門職の存在が認められた。

考察：アジア諸国の歯科に対する意識や医療制度、国内情勢により、口腔衛生を担う専門職種や役割は国によって異なっている。本研究に関する文献数は現状では乏しく、現地調査を実施する必要があると考えられた。今後は、歯科衛生士発祥の地である米国、歯科医師と歯科衛生士の比率が日本と類似しているカナダの歯科衛生士の役割について海外調査を行いたいと考えている。

海外および日本の歯科衛生士制度について考察し、社会に求められる歯科衛生士の将来像を探り、神戸常盤大学独自の4年制教育プログラム確立を目指したいと考える。

---

1) 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 2) 保健科学部口腔保健学科